

## 会社概要 (2020年9月30日現在)

### 商号

SGホールディングス株式会社  
(SG Holdings Co., Ltd.)

### 設立年月

2006年3月

### 本社所在地

京都市南区上鳥羽角田町68番地

### 資本金

11,882百万円

### グループ人員

従業員数 95,560名  
うち、パートナー社員等  
(期中平均) 43,610名

### 事業内容

グループ経営戦略策定・管理並びに  
それらに附帯する業務

## 株主メモ

### 証券コード

9143

### 事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

### 定時株主総会

毎事業年度終了後から3か月以内

### 株主確定基準日

毎年3月31日

### 剰余金の配当の基準日

期末配当 3月31日、中間配当 9月30日

### 株式の売買単位

100株

### 公告掲載方法

電子公告とします。ただし、やむを得ない事由により、電子公告による  
ことができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行い  
ます。電子公告は当社のホームページに記載しており、そのURL  
は次のとおりです。 <http://www.sg-hldgs.co.jp/finance/ir.html>

### 株主名簿管理人及び

### 特別口座の口座管理機関

大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
電話番号 0120-094-777(フリーダイヤル)

### 連絡先・郵便物送付先

### 株式分割の実施

2020年10月31日(土曜日)を基準日(同日は株主名簿管理人の  
休業日につき、実質的には2020年10月30日(金曜日))、同年11月  
1日を効力発生日として、当社普通株式1株につき、2株の割合を  
もって分割いたしました。

## Web サイトでも情報を開示しています



▶ <http://www.sg-hldgs.co.jp>



株主・投資家情報

当社のWebサイトでは、グループ企業の活動全般にわたる最新の  
情報をご提供しています。また、「株主・投資家情報」では、決  
算短信や決算説明会資料の掲載をはじめ、経営方針や経営戦  
略、各種お知らせなどを幅広く発信しています。財務情報や事業  
内容などについての詳細はWebサイトをご参照ください。

▶ <http://www.sg-hldgs.co.jp/finance>

※ 株式や配当についての情報は、「株主・投資家情報」の「株式につ  
いて」からご覧いただけます。

## SGホールディングス株式会社

# 株主通信

第15期 中間報告 2020年4月1日～2020年9月30日

# SGH



本号のキーワード

## 「宅配を進化させるXフロンティア®」

▶ 詳細は [P.5-6](#) 特集

**SGホールディングス株式会社**

UD  
FONT

ミックス  
責任ある木質資源を  
使用した紙  
FSC  
www.fsc.org  
FSC® C022337

この印刷物のFSC®ラベルは、  
世界の森林資源の責任ある利用  
を保証します。

## ご挨拶



## ご挨拶

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2020年初頭より世界的に猛威を振るう新型コロナウイルス感染症(以下、感染症)の影響により、多くの国で都市封鎖や外出禁止といった対策が講じられました。これにより物流の寸断がいたる所で発生し、経済活動に混乱が生じました。一方、国内に目を向けると、2月下旬に政府から出された小中高及び特別支援学校に対する臨時休校要請を皮切りに、4月には緊急事態宣言が発出され、外出や店舗営業等自粛の動きが強まりました。外出が制限される中、「巣ごもり需要」によりeコマースが急速に拡大し、この動きは緊急事態宣言が解除された5月中旬以降も継続しています。

このような状況から、社会インフラとしての必要性が高まっています。SGホールディングスグループでは、主力商品である飛脚宅配便の持続的かつ安定的なサービスの

提供を可能にするために、いち早く従業員や協力会社への定期的な検温や消毒などのルールを導入しました。感染症の予防を徹底することで、エッセンシャルワーカーとしての使命を果たしてまいります。

## 上期業績と施策について

2021年3月期上期のデリバリー事業に関しては、店舗の営業自粛等の影響によりBtoB荷物が減少したものの、BtoC荷物はeコマースの拡大によりBtoB荷物以上に増加し、取扱個数は増加(前年同期比4.5%増)となりました。増加する荷物への対応として、ドライバーの商業エリアから住宅エリアへの配置転換や幹線輸送効率化などの輸送インフラ整備を実施し、また、“指定場所配達サービス”の導入など、ラストワンマイルの需要にも確実に応えてまいりました。

ロジスティクス事業におきましては、感染症が世界的に拡大する中、エクスポランカ社\*がアジア発米国籍の個人用防護具等の緊急輸送を行うなど、機敏な対応により新規

## 2021年3月期 連結業績予想

(億円)	2021年3月期	前年同期比
営業収益	12,480	106.3%
営業利益	970	128.6%
経常利益	980	121.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	675	142.7%
EBITDA	1,235	124.9%

ビジネスの受託につなげました。

これらの取り組みにより、2020年3月期上期の業績は、連結営業収益が6,348億円(前年同期比8.0%増)、連結営業利益が524億円(前年同期比41.1%増)となりました。

\* エクスポランカ社:2014年5月に資本提携により当社グループに加わったスリランカ最大手のフレイトフォワード。世界27カ国・地域の約60か所に拠点を有し、エアレールの航空輸送をコア領域に西はアフリカ、東は米国まで事業を展開しており、欧州においても強力な代理店網を保有。

## 下期の施策と通期の見通しについて

2021年3月期下期は、飛脚宅配便の継続的な増加が見込まれる中、取扱個数のキャパシティ拡大と、品質の維持向上に注力するとともに、適正運賃収受の取り組みも継続いたします。

2020年10月より、グループ最大規模の次世代型物流センター「Xフロンティア®」において、佐川急便株式会社の中継センターが一部稼働しました。関東の中継センターを集約することにより、輸送ネットワークの効率化が進み、取扱個数の増加と高品質な輸送サービスの提供が可能となります。

2021年3月期通期の業績予想は、上期の実績と足元の動向を考慮し見直しました。連結営業収益1兆2,480億円、連結営業利益970億円を見込んでいます。

## 配当について

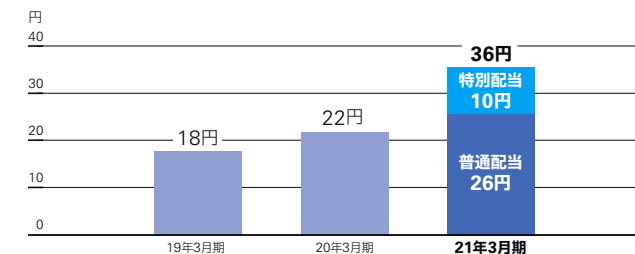
2020年3月期の中間配当は、好調な業績を受け1株当たり26円とさせていただきました。併せて、当社保有の株式会社日立物流株式の一部売却による投資有価証券売却益に対し、10円の特別配当を実施いたします。

期末配当予想は、現下の堅調な動向に鑑みて見直しを行い、30円を予定しています。なお、より一層の投資家層の拡大と流動性向上を目的に、10月31日を基準日とした、1株につき2株の株式分割を実施いたしました。これにより、期末配当予想は30円から15円となります。

今後の配当政策は、引き続き配当性向30%を念頭に、財務バランスや将来の投資計画等を総合的に勘案しながら検討していきます。

株主の皆さまにおかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

## 1株当たりの中間配当額

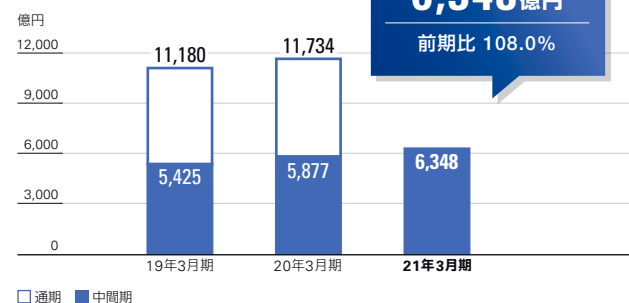




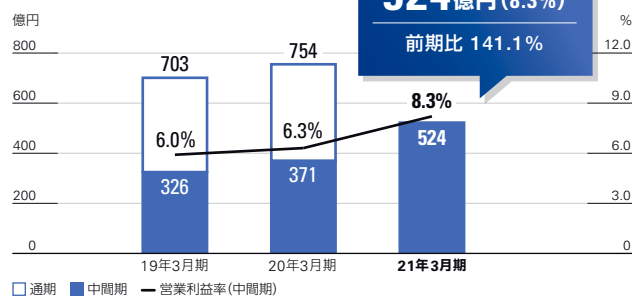
# 決算のポイント

- ➡ 感染症の影響が継続する中、BtoBの減少を **BtoCの増加が上回り、取扱個数が増加**
- ➡ 増加する荷物に対し、**ラストワンマイルの配達強化を実施**
- ➡ 輸送ネットワーク最適化などの **生産性向上の取り組み**
- ➡ エクスポランカ社による **アジア発米国着の個人用防護具緊急チャーター案件の受託**

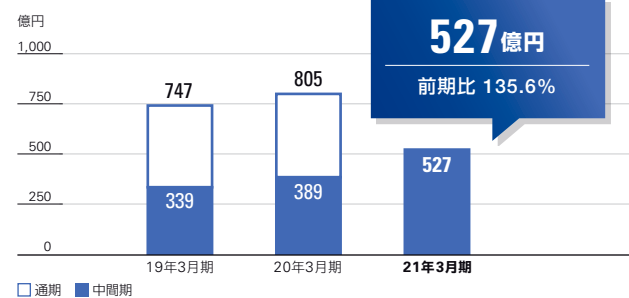
## 営業収益



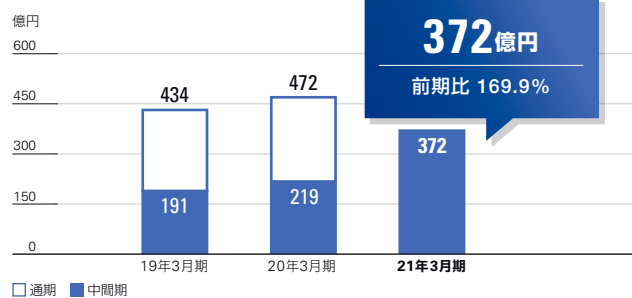
## 営業利益 (営業利益率)



## 経常利益

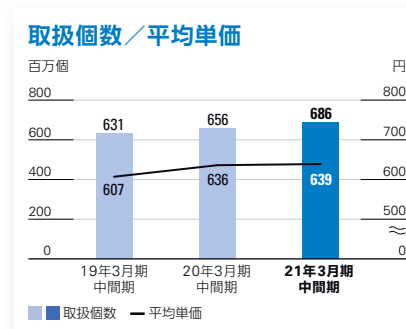


## 親会社株主に帰属する当期純利益



## セグメント別事業概況

**デリバリー事業** におきましては、当第2四半期累計期間の取扱個数は増加(前年同期比4.5%)いたしました。そのうちBtoB個数は、経済活動が再開したことにより持ち直しの動きが見られるものの減少いたしました。BtoC個数は、働き方や消費者のライフスタイルの変化によるeコマース市場の拡大を受け増加いたしました。



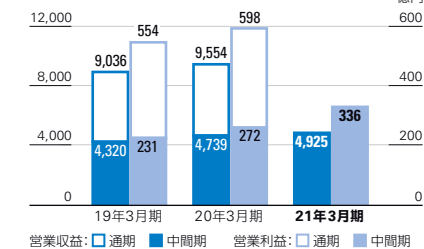
平均単価は、適正運賃收受の取り組みを継続しているものの、相対的にサイズの小さいBtoCの取引が増加したことにより微増に留まりました。また、「TMS (Transportation Management System)」をはじめとする「GOAL®」の営業活動強化、並びに幹線輸送の積載率向上などの生産性向上に取り組みました。この結果、当第2四半期連結累計期間における当セグメントの営業収益は4,925億円(前年同期比3.9%増)、営業利益は336億円(同23.5%増)となりました。

**ロジスティクス事業** におきましては、海外における個人用防護具の緊急国際輸送を2020年6月以降継続的に受託したことにより、フレイトフォワードイングの物量が増加いたしました。また、感染症拡大によるロックダウンの影響で減少していた物量も、持ち直しに転じております。この結果、当第2四半期連結累計期間における当セグメントの営業収益は899億円(前年同期比34.4%増)、営業利益は63億円(同392.9%増)となりました。

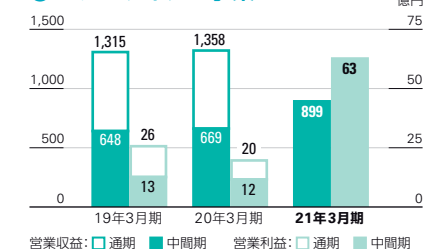
**不動産事業** におきましては、計画的に保有不動産を売却いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間における当セグメントの営業収益は190億円(前年同期比51.8%増)、営業利益は95億円(同70.8%増)となりました。

**その他の事業** におきましては、BtoCの荷物が増加したことにより代引決済が増加いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間における当セグメントの営業収益は332億円(前年同期比2.9%減)、営業利益は19億円(同21.4%減)となりました。

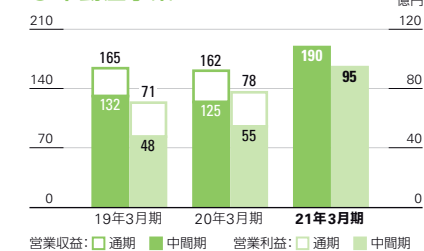
## ➡ デリバリー事業



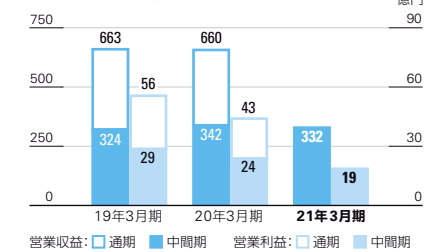
## ➡ ロジスティクス事業



## ➡ 不動産事業



## ➡ その他の事業







特集

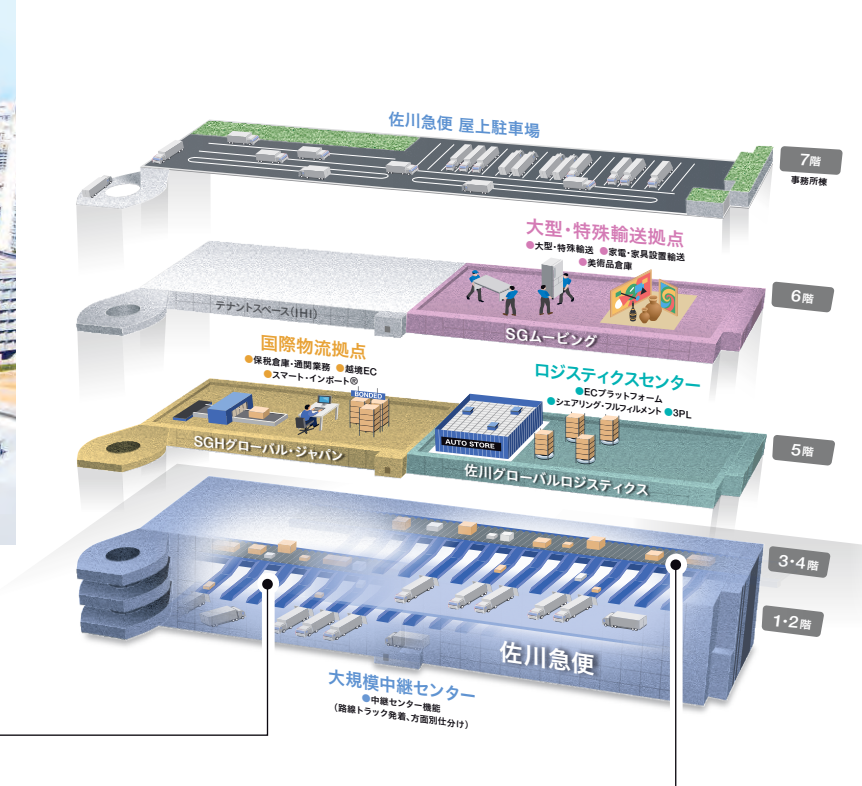
# 宅配を進化させるXフロンティア®

当社グループが提供する宅配サービスは、2020年下期にXフロンティア®の大規模中継センターが本格稼働することで、更に進化します。

最大の進化は、輸送ネットワークの効率化です。関東圏の複数の中継センターを集約することでトラック使用台数が削減され、輸送効率とともに積載効率の向上も見込めます。

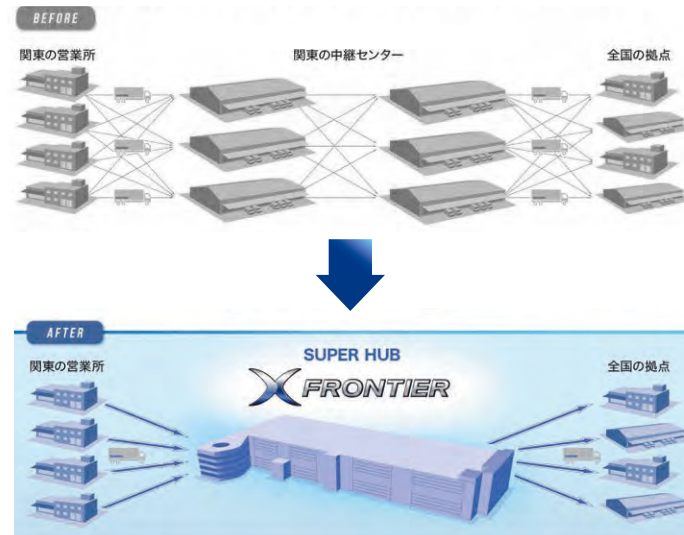
また、荷捌き処理能力の向上、機械化による省人化が見込まれます。296か所のトラック着車バースを有し、荷物に応じた5種類の自動仕分け機を導入することにより、最大236方面への高速仕分けが可能となります。トラックバースやマテハンの活用で、ドライバーの待機時間が短縮され、働き方が改善されます。

Xフロンティア®が本格稼働することにより、リードタイムが短縮し宅配のサービスレベルが向上します。また、処理能力の向上によりキャパシティが増加し、高まる宅配ニーズへの対応が可能となります。



## CHANGE 01 輸送効率・積載効率向上

関東圏中継センターの集約イメージ



## CHANGE 02 処理能力向上

1時間当たり約10万個仕分け処理可能



## CHANGE 03 機械化による省人化

2層それぞれに5種類の自動仕分け機導入

